

2 JDSPの概要

(1)JDSPの支援項目

JDSPにおいては、休職前とは異なる職場や部署、職務での復職を想定した支援を行っています。このため、表1に示したように復職に必要な基本的な支援項目をベースとしつつ、新しい職場環境や職務に対する対応力の向上をはかるための支援項目を追加的に設定しています。

表1 JDSPの支援項目

項目	健康管理面	認知面	職務面
追加的支援項目 (新しい職場環境 や職務への対応力の 向上)	・就業環境の変化 に伴う心理や体調 変化の自己管理	・新しい職場内のスト レスと不安の統制 ・新しい職場内のスト レス場面に対する適切 な対応方法の習得	・キャリアプランの 検討 ・職場環境の調整
復職に必要な 基本的項目	・気分、体調の自己 管理 ・ストレスコーピング	・対人コミュニケーシ ョンスキルの向上 ・認知行動療法の理解 ・障害の理解	・職務を円滑に遂行 していくためのセ ルフマネジメント 力の向上

(2)JDSPの構成要素

図1は、JDSPの構成要素をロジックモデル(プログラムの目的を達成するに至るまでの論理的な因果関係に関する図式)をベースとして整理したものです。

JDSPでは、受講者に対する復職支援サービスを、1. 毎日のミーティング、2. 運動、3. ストレス対処講習・アンガーコントロール支援、4. 対人技能訓練、5. 作業、6. キャリア再構築支援、7. 各種セミナー、8. 個別相談、9. 職場への同行相談の9の要素に、また、事業所に対するサービスを、1. 対象者の状況伝達、2. 復職にあたっての助言の2つの要素に分類し、要素ごとに期待される支援成果(即時的成果、中間的成果1、2、3、最終的成果)をあらかじめ定めています。

「アンガーコントロール支援」(赤枠部分)は、受講者が実際の職場等において、怒りの感情に対して適切な対処行動をとれるよう支援し、自信と自己効力感の回復を図り、早期復職とその後の職場適応の強化につなげていくことを目的として実施しています。

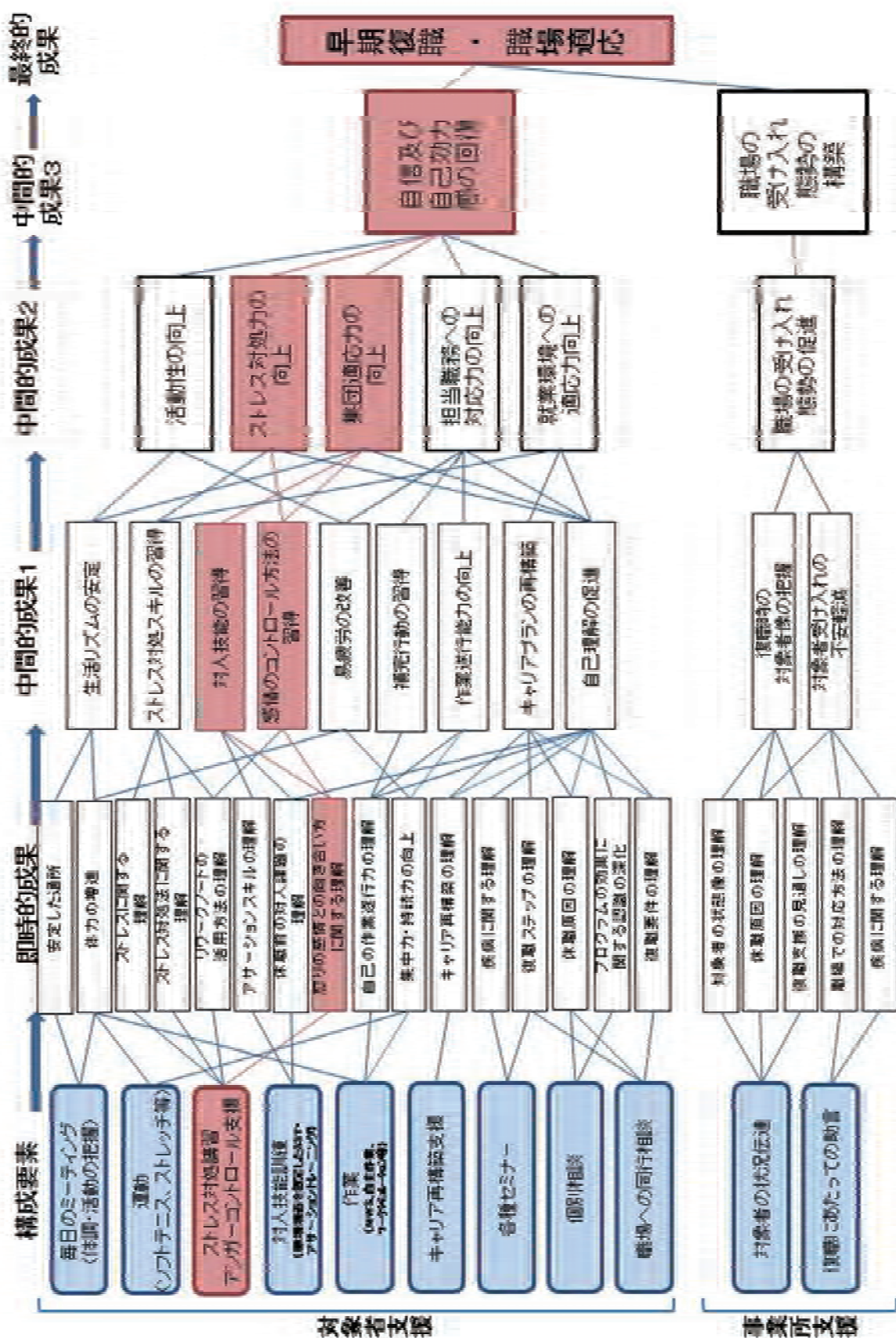


図1 JDSP ロジックモデル